

本時のねらい

単元を通して学習した「問いの文」と「答えの文」を用いて、ICT を活用し、オリジナル動物クイズを作ることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイノートのプレゼンテーション機能を活用し、「問いの文のスライド」「答えの文のスライド」で構成されたクイズを作成する。
- ・クイズを作成することで、視覚的に「問い」と「答え」の関係の理解を深める。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC (iPad)
- ・授業支援ソフト (ロイノート)
- ・電子黒板

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○教員がロイノートで作成したクイズを児童に提示し、本時の学習課題を共有する。	・教員が作成したクイズを電子黒板に提示し、クイズを体験することで、クイズの作り方と「問い」「答え」の関係性を考えられるようにする。
展開 (30分)	○自分が問題に出したい動物を考え、インターネットを使って画像を検索する。 ○取り込んだ写真を編集し、アップの画像を作成する。 ○写真に合うように、問いの文と答えの文を作成する。 ○写真と文章を組み合わせ、「問いの文のスライド」「答えの文のスライド」を作成し、クイズを完成する。	・iPad の 2 画面表示機能を活用し、ロイノートと検索画面を表示し、動物の画像をロイノートに取り込ませる。 ・著作権について確認し、フリー画像を検索させる。 ・自分がクイズに出題したい体の部位を選ばせて、写真をアップにして撮影させることで、問いの文をつくることを意識させる。 ・教科書の本文や、初めに提示した動物クイズを参考に、自分が選んだ写真に合わせて問いの文と答えの文を考えさせる。
まとめ (10分)	○タブレットを見せ合いながら、クイズを出し合う。 ○提出箱に動物クイズを提出する。	・タブレット画面を聞き手の方へ向けて問題を出す方法を教えることで、プレゼンテーションをするときの話し方を身につけるとともに、どの児童もクイズを楽しめるようにする。 ・提出箱を作成して、作成したクイズを提出させる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1 : タブレットを用いて、クイズを作成している場面



写真 2 : ロイノートで作成した動物クイズ



写真 3 : 動物クイズを出し合っている場面

児童生徒の反応や変容

- ・タブレットを使うことで、作成と推敲に意欲的に取り組めた児童が多かった。
- ・友達と交流する場を設定したことで、友達があまり知らなさそうな動物を出題したり、手・足・目などの部分を問題にしたりするなど、自ら工夫して取り組む姿が見られた。また、動物クイズを作るのも答えるのも楽しそうで、本時の学びや気づきを踏まえてもう一度作り直したいという意見が多く出た。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

タブレットを用いてクイズを作成することで、児童は、大変意欲的に取り組むことができた。作成途中で操作方法に戸惑う児童もいたが、個別に支援することで全員がクイズを完成させて、問題の出し合いを楽しむことができた。図鑑では情報の抜き出しが難しいが、タブレットを使うと検索が容易になり、自分が問題に出したいと思った動物を選んで調べることができた。また、字や絵をかくことが苦手な児童にとっても、タブレットを使用することで限られた時間内に完成させることができた。